

「まなび」・「こころ」・「からだ」 3部会の反省及び今後の取組の報告

( まなび ) 部会

<p>1・2学期 の反省</p>	<p>〈小学校〉 ○学力向上（授業への取組、家庭学習など） ・学習支援ボランティア（通年、特定の時期）</p> <p>○読書活動（読み聞かせなど） ・図書ボランティアによる読み聞かせ ・図書委員会による読書活動の啓発</p> <p>○地域人材（ジオ学習、伊佐学） ・人材バンク →小中学校の財産として引き継いでいくようにしたい。</p> <p>〈中学校〉 ○学力向上（授業への取組、家庭学習など） ・学習支援ボランティア（夏休み、テスト週間）</p> <p>○読書活動（読み聞かせなど）</p> <p>○地域人材（ジオ学習、伊佐学） ・キャリア教育全般への参加 ・月例集会での大学生の発表 ・ジオガイドや教育ネットの方々との連携</p>
<p>今後の取組</p>	<p>〈小学校〉 ○学力向上（授業への取組、家庭学習など） ・自由進度学習の取組</p> <p>○読書活動（読み聞かせなど） ・図書ボランティアによる読み聞かせ ・図書委員会による読書活動の啓発</p> <p>○地域人材（ジオ学習、伊佐学、職業講話） ・人材バンクを活用した取組</p> <p>〈中学校〉 ○学力向上（授業への取組、家庭学習など）</p> <p>○読書活動（読み聞かせなど） ・地域の方のビブリオバトルへの参加</p> <p>○地域人材（ジオ学習、伊佐学） ・地域人材の活用（ゲストティーチャー、保護者を巻き込んだ取組）については、食生活改善推進委員会の活用、立志式、親子参加型参観授業、卒業生によるキャリア学習会、職業講話等の取組を今後予定している。 ・台湾水里国民中学、慶応義塾大学 SFC との交流を継続する予定。</p>
<p>話し合い の記録</p>	<p>●体験活動の重視 例えば小学校 4 年生で学習する「ごみの分別」について、その必要性や家庭の実践とともに学ばせることが大切である。</p> <p>●家庭学習の充実 小学生から中学生に至るまで、家庭学習の質や量を調整し、習慣化させることが必要である。</p> <p>●地域人材の活用 SDGs の推進に係る人材発掘等、身近な地域人材のさらなる活用を図るとよい。</p>